

「伊達市手をつなぐ育成会」 創立50周年・作業所開設35周年 多くの市民の皆様から感謝



令和4年12月11日、コロナ禍による1年遅れの開催となりましたが標記の「記念式典」を挙行し、無事終了することが出来ました。

昭和46年、障がいのある子を抱えて途方に暮れる親たちの相談の場、そして定期的に集まり同じ悩みを語り合う交流の場を求めて「伊達市手をつなぐ育成会」が誕生しました。

当時の障がい福祉をめぐる状況は、在宅者を支える仕組みは殆どなく、行き場がなくて困っている子ども達の受け皿となる入所施設をいかに増設していくかが、会の活動の最大の目標となっていました。

そして、こうした入所施設の増設についての陳情を目的とした活動内容を大きく変えていくきっかけとなったのが、昭和61年4月にスタートした「障害基礎年金制度」です。

この制度の導入によって障がいのある人は、無抛出でも20歳になれば年金が受給できることになり、経済的に親兄弟に負担をかけることはなくなりました。しかし、経済的な負担がなくなっただけでなく、行き場もなく家に閉じこもっているのでは、やはり家族の悩みは大きく、本人達にとっても自立した生活とは言えませんでした。

親や本人たちの切なる願いに応え、当会は

昭和61年4月、年金制度の導入に合わせて、在宅者の社会参加や活動の場として「あさひ町作業所」を開設することになりましたが、このことにより育成会の活動内容についても、それまで単なる交流、陳情団体から、自立した事業団体へと大きく生まれ変わることになります。

それから35年を経て、当会も、特定非営利活動



法人の認証取得、企業内授産作業の開始、障害者自立支援法に基づく就労継続支援事業B型・生活介護・相談支援事業等の実施、さらに育成会の活動拠点である新社屋「ワークセントアーエるむ」の新設など、大きな発展を遂げることが出来ました。これもひとえに、会員家族を初めとして、日頃から、陰になり日向になり応援して下さい、多くの市民の皆さまのお陰と心から感謝申し上げます。

最後に何かとご多忙な折、式典に駆けつけて下さいました佐藤道育成会会長、竹田事業所協議会会長に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

伊達市手をつなぐ育成会 会長 小林繁市

インクルーシブ防災

みんなで助かる防災の実現へ

B型事業所「CoKoRo357」(NPO法人静内耕生舎)では昨年11月、「地震・津波発生時の避難」をテーマに勉強会を実施し、その様子が地方紙に紹介されました。保護者や職員を対象に参加者40名が災害の恐ろしさを学び、避難の方法などを考えたとの報道でした。

また、道内各地の育成会や事業所から届けられる「お便り」には「地震や火災等」を想定した避難訓練の様子が掲載されています。中には「(社福)なよろ陽だまりの会」のように消火器を使っの初期消火体験や、「札幌市手をつなぐ育成会」が実施した「厳冬の災害対策」等、日常における備えについて学ぶ勉強会も企画されています。

「きょうされん」が制作・上映活動を続けている東日本大震災を舞台に、災害時における、障がい者の状況と支援者の活動を描いた映画『星に語りて〜Starry Sky〜』では、被災した障がい者の死亡率が全体との対比で2倍になっている事実や、避難所では過ごせず、「消えた障がい者」を探す支援者が描かれました。

標題にある「インクルーシブ防災」とは障がいがある人もない人も、高齢者も、幼い子ども達も「誰ひとり取り残さない」をめざした防災の理念です。国連の防災世界会議をきっかけに各国に広がりを見せています。

今後、本会としても各地の育成会や運営する事業所の防災に関する取り組みを調査、交流し、互いに学ぶ機会をつくりたいものです。

『災害は忘れた頃にやってくる』はもはや過去の事。毎年、何度もやってきているのですから！

コロナなんかには負けないぞ!

その18

■道内各地の育成会、只今奮闘中■

育成会と町民による

チャリティーコンサート

令和2年に始まり、世界的流行（パンデミック）が宣言された新型コロナウイルス感染症の流行から3年、育成会や関係する皆さんが楽しみにしている年間の事業がほとんどできない状況が続いていました。しかし、チーム十勝で臨んだ「第67回全道大会帯広大会」の成功をきっかけとして、みんなのできることはないかと、役員で検討を開始したのでです。

感染が少し落ち着き始め、町内でもコンサートや映画会が行われていましたので、私たちにもコンサートならできるのではないかと、結論を得て、十勝で活躍する市民バンドのリーダー「千葉由雄さん」に出演を相談し、関係者の協力を得ながら11月6日(日)の開催をめざしました。また、コンサートは育成会の関係者ばかりではなく、町民にも呼び掛け、会場も文化センターの大ホールとし、働きかけを大きく広げて取り組むことにしました。

久しぶりの活動でしたので大変でしたが、結果は会員世帯数の6倍にあたる2000名を超える方々の参加をいただきました。また、当日は会員・本



人達が、それぞれ役割を担い、大いに力を発揮してくれました。

市民バンドの「ちばよしお&ノーチェ・アミーゴ」も素晴らしい演奏を展開していただき、特に会場との交流がメインとなる第2部では、3名の本人達が舞台上で元気に歌い、大変盛り上がりしました。

この度は帯広で開催された全道大会から、エネルギーをもらい、取り組むことができました。会員はもとより、多くの町民の方々にも喜び、楽しんでいただき、募金額は、8万円にも上りました。このコンサートが育成会活動の活性化へとつながる一里塚となるよう、今後も引き続き頑張っていきたいと思えます。

十勝地区手をつなぐ育成会連絡協議会 栗林秀治
音更町手をつなぐ育成会 酒井省三



第68回全道大会小樽大会 進捗状況

小樽が誇る歴史、大会支援を約束!



迫俊哉市長

1月12日(木)、小樽市長迫様、並びに市福祉保険部長勝山様にお会いし、ご挨拶をさせていただく機会を得ました。道育成会からは佐藤会長、樋口事務局長、

大会実行委員会からは光増委員長、石亀事務局長が同席し、次のようなお話しをさせていただきました。

「小樽市を会場とする大会開催は4回目を迎え、平成15年以来、20年ぶりとなります。

また、小樽手をつなぐ育成会は、昭和30年に道育成会が発足した翌年、道内自治体で最初の育成会として誕生しました。道育成会初代理事長を務めた花園学院の院長で精神科医の谷口憲郎氏の功績はもとより、市を上げての熱心な支援がありました。

さらに昭和39年、知的障がい者通所更生施設《小樽四ッ葉学園》において全国で初めてとなる通所事業が開始されました。小樽での取り組みがその後、我が国の福祉施策に少なからぬ影響を与え、ここ小樽が福祉の発信地となったのです。」

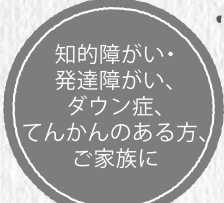
迫市長からは、大会実行委員会にて提案されていた大会役員について「名誉大会長」をその場で快諾され、「開催に向け、要望があれば遠慮なく言ってほしい。」とも。市としての力強い支援、励ましに感謝を申し上げ、市役所を後にしました。



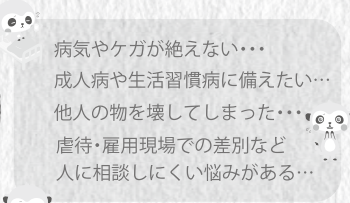
2月の予定

13日(月) 第2回広報・企画専門委員会
22日(水) 第68回全道大会小樽大会

第2回実行委員会



知的障がい・発達障がい、ダウン症、てんかんのある方、ご家族に



病気やケガが絶えない…
成人病や生活習慣病に備えたい…
他人の物を壊してしまった…
虐待・雇用現場での差別など
人に相談しにくい悩みがある…

障がいのある方とご家族へ

ぜんちの
あんしん保険
少額短期健康組合保険（特約型）2019年創設

特別支援教育を必要とされている方へ

ぜんちの
こども傷害保険
権利保護補償付傷害保険 2019年創設

- ・最高日額1万円
- ・個人賠償責任補償
- ・弁護士費用補償
- ・安心サポート

- ・入院・通院を日額保障
- ・個人賠償責任補償
- ・トラブルに巻き込まれた際、弁護士がサポート

このようなお困り事に
心当たりがある方に…

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら



ぜんち共済株式会社
関東財務局長（少額短期保険）第14号
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5九段北325ビル4階
※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。
【2020年1月作成 19-T06633】

0120-322-150
平日9時～17時（土・日・祝・年末年始を除く）
URL: <http://www.z-kyosai.com/>

取扱代理店（資料請求・その他お問い合わせ）

有限会社オフィスブレイン
〒060-0032
北海道札幌市中央区北2条東3丁目2番地 札幌セントラルビル2階
TEL: 011-207-2522 FAX: 011-207-2523

知的障がい児者・自閉症児者の
生活サポは **家族の安心を支えます**

●日常生活に関する相談支援 ●就労に関する相談支援
●権利擁護に関する相談支援 の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、
知的障がい児者、自閉症児者のための
病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

AIG損保の普通傷害保険
生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事者事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

主な補償内容

病気やケガで入院したとき 入院給付金 ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術・各保険金 (地震・噴火・津波によるケガも対象)	病気で死亡したとき 疾病葬祭費用保険金 ※プランによって補償します 賠償責任を負ったとき 個人賠償責任保険金	虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 ※プランによって補償します 就労中に他人にケガをさせたり 物を壊してしまったとき 職業従事者事故対応費用補償 ※プランによって補償します
---	--	---

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者
株式会社 ジェイアイシー 北海道支店
〒060-0042 札幌市中央区大通西13丁目4番地102
レジディア大通公園2F
TEL: 011-221-7009 FAX: 011-221-1704
受付時間: 午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社
AIG損害保険株式会社
<https://www.aig.co.jp/sonpo>
札幌支店
〒060-0003 札幌市中央区北3条西4-1-1 日本生命札幌ビル17F
TEL: 011-204-7510
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

北海道知的障害児者生活サポート協会
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かのり2・7 4階
北海道手をつなぐ育成会内
TEL: 011-251-0855 FAX: 011-251-0804
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

2021年12月現在の内容です。(D-005642 2023-03)

『どんな障がいがあっても、地域で普通に暮らしたい』

障がい者の願いを実現することが事業所協議会の
目的です。私たちは、『経営』と『志』の統一を
目指しています。体力のある事業所も体力のない
事業所も助け合います。あなたの事業所の入会を
待っています。

**北海道手をつなぐ育成会
事業所協議会**

〒060-0002
札幌市中央区北2条西7丁目 かのり2・7 (4F)
電話(011)251-0855/FAX(011)251-0804
E-mail: doikusei@air.ocn.ne.jp

★会員事業所紹介★

**特定非営利活動法人 俱知安町手をつなぐ親の会
ワークステーション 輝**
〒044-0055 虻田郡俱知安町北5条西3丁目5
電話/FAX(0136)22-2891

★就労支援多機能型事業所
就労継続支援B型・自立訓練(生活訓練)
☆定員 20名

★主な作業
☆クロネコヤマトDM便
☆店舗掃除 ☆古紙回収
☆分別 ☆下請け作業

